

第6回 加茂市都市計画マスタープラン策定委員会
議事要旨

日時：令和6年7月23日（火）14：00～

場所：加茂市役所 5階 第1委員会室

出席者：以下のとおり（敬称略）

区分	氏名	所属・団体名
第1号 学識経験者	松川 寿也	長岡技術科学大学 准教授
	鈴木 孝男	新潟食科農業大学 教授
第2号 関係団体	海津 恵美	七谷さとやまふぁーむ
	佐藤 愛子	えちご中越農業協同組合 経営管理委員
	川崎 大一郎 (欠席)	株式会社 川崎薬品商会
	川上 和哉	有限会社 川上製作所 代表取締役社長
	藤田 和子	特定非営利活動法人 わくわくクラブ 理事長
第3号 その他	片岡 廣夫	公募委員
	笹川 裕子	公募委員
	森田 佑介	公募委員
	市川 恭嗣	加茂市 CSO
オブザーバー	安井 和也	新潟県三条地域振興局地域整備部 部長

- 1 開会
- 2 委員長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 第2回地域別懇談会の実施報告について
 - (2) 第5回策定委員会の振り返りについて
 - (3) 地域別の方針（案）（各地域の現状及び課題）について
- 4 事務連絡
- 5 閉会

(1) 第2回地域別懇談会の実施報告について

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員長)

- ・地元への回覧資料は今回の資料と同じものか。
→ (事務局) 同じものである。二次元コードを読み取ることで、他の地域も閲覧することができる。

(2) 第5回策定委員会の振り返りについて

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員長)

- ・全体構想の将来像について、地域別懇談会ではどのような意見があったか。
→ (事務局) 特段意見は無かった。

(委員)

- ・将来像の「笑顔あふれる」という総合計画のキーワードは入れなくてはいけないのか。もう少し分かりやすいフレーズがあればよい。
→ (事務局) 「笑顔」ということで明るい印象となることで認識しているが、ご意見を踏まえて検討させていただく。

(委員)

- ・表紙のイメージイラストについて、こちらは加茂市全体を示しているのか。
→ (事務局) あくまでもイメージではあるが、駅前や加茂川、加茂山公園、商店街の俯瞰的なイメージとしている。

(委員)

- ・表紙のイメージイラストについて、コンパクト&ネットワークとして表現されているのか。
- ・加茂川沿いの駐車場は景観の観点からも維持することが望ましいのか。
- ・植栽についてどのような意味合いなのか分からない。
- ・加茂山公園の公園が示されていない。また、神社の境内への動線が真っすぐになっていない。
- ・建物が密集していて、ゆとりがない。

(委員)

- ・表紙のイメージイラストについては、加茂市全体で冬鳥越や水源地も含めて、大まかなスケールで表現する方がよい。

(委員)

- ・表紙のイメージイラストについて、ル・レクチェや木工、米製品を販売しているイラストなどが入っていたらよい。

(委員)

- ・表紙のイメージイラストについて、他都市の事例では、柏崎市ではイラストがなくあっさりとしている。京都の都市マスでは、各区の特徴を描いている。加茂市全体のイメージとするか、あるいはイラストにこだわらずに写真を掲載する形でもよいと考えられる。

(委員)

- ・表紙のイメージイラストについて、居心地の良さやにぎわいを伝えるというだけのイメージのイラストのように感じられる。表紙にするのであれば、あえてイラストにこだわる必要はない。

(委員長)

- ・都市をイメージ図で表現するのはなかなか難しい。長岡市では、市全体の俯瞰的なイラストとしており、将来のイメージを示したものとして作成していない。

(3) 地域別の方針(案)(各地域の現状及び課題)について

～事務局資料説明～

【意見交換】

(委員)

- ・七谷地域の住民意向に「ランデブーポイント」と記載があるが、住民は「ヘリポート」の方が理解しやすい。
→(事務局)巻末の用語集に追加することを検討する。救急ヘリの着陸場所という観点では「ランデブーポイント」が正式名となる。

(委員)

- ・地域の課題について、市全体的な課題は記載しないことで明確になっているが、市全体的な課題も重要だと感じる。
→ (事務局) 市全体的な課題は全体構想の方で記載している。

(委員長)

- ・市全体的な課題で記載されていない課題は、経緯が分からない方にとっては、疑問を感じる方がいるのではないか。

(委員)

- ・地域固有の課題であることが分かるように注釈などを追加してはどうか。
→ (事務局) 地域別の方針の前段部分(118ページ)には記載はしている。

(委員)

- ・各地域の方針のみを見た方は、冒頭部分の説明を飛ばすため、各地域にも記載が必要である。

(委員)

- ・地域別の課題として、買い物の利便性を求める地域は、郊外部のお年寄りのニーズが高い地域である。買い物の利便性は、若者と高齢者など世代でニーズが異なる。そのような世代ニーズを地域別では強調した方がよい。
- ・加茂市全体と地域内では求められるものが異なる。例えば、「都市機能の強化」は、郊外部と中心部では異なるため、その辺を整理できたら分りやすい。
- ・観光は地域外のニーズになってくるため、地域別懇談会の意見のみで検討すると漏れてしまう可能性があるため、整理が必要である。

(委員)

- ・課題の文末の表現について、「必要です」と全て同じ表現となっているが、体言止めの表現でも伝わる。
- ・「公共施設の集積」について、「集積」ではなく「集約」が正しい表現である。
→ (事務局) 課題の表現については検討する。

(委員長)

- ・事業のプライオリティを考えるのがマスタープランの一つの役目であるため、優先度をつけることは必要であるが、課題の部分で優先順位をつけなくても、その後の方針の部分で整理することでよい。

(委員)

- ・資料3—1で整理している地域別の課題の検討スキームの体系図等について、本編にも記載されていたら分かりやすい。
→(事務局)こちらは内部の検討の話も含まれるため、どのような整理の仕方がよいか検討する。

(委員)

- ・実現不可能な計画となると市民の信頼性が薄れるため、絞っても分かりやすい。地域別で整理する課題等の内容については、全体構想へフィードバックする作業が必要である。

(委員)

- ・地域内連携と同時に広域連携も必要である。広域連携をもっと具体的に議論する必要がある。

(委員長)

- ・広域連携については、新潟県が作成する広域のマスタープランで議論することとなる。

(委員長)

- ・事務局から説明があった課題のまとめ方について意見をいただきたい。

(委員)

- ・地域の課題のまとめ方としては、資料3—3の方が地域に馴染みやすい。

(委員長)

- ・地域の課題としては資料3—3のまとめ方が分かりやすいという意見が多いが、土地利用や都市施設などの分野はアイコンで示してはどうか。
→(事務局)全体構想の課題でも同様にアイコン表記をしており、そのような表記の方法で検討する。

事務連絡

～3D都市モデルの紹介～

以上